

理科学習（流れる水の働き）活動実施結果

- 1 日 時 平成18年10月26日（木）14時15分～15時
- 2 場 所 直方市立 上頓野小学校 玄関前
- 3 学年と生徒数 5年 65名（2クラス）
- 4 対象校 直方市立 上頓野小学校
- 5 単元名 理科単元「流れる水のはたらき」
- 6 単元目標 地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化についての考えを持つようにする。

7 実施内容

1) 直線実験

流水模型で直線を造り、水の量を徐々に増やす。

水の「流す（運ぶ）」（上流の砂が下流まで運ばれる。）

「削る」（小さな川が少しずつ広がっていく。）

「積もらせる」（下流に砂が堆積する。）

働きを学んだ。



2) カーブ実験

カーブの川を造り、カーブの内側と外側の違いを学ぶ。

外側：流れが速く削られる。

内側：流れが遅く砂が積もる。



3) 洪水実験

上流側に小石を置き、水を最大限に流す。

平常時と洪水時の川の違いを学ぶ。

洪水時には、水の流す（運ぶ）働きが増す。（家や岩などが流される）

” 水の「削る」 ” （護岸が削られる）

水の「積もらせる」 ” （下流に大量の土砂が溜まる）



4) 子供達の感想（抜粋）

・ビデオとかで見るより、実際にやってみた方が、大変わかりやすかったです。

・もっと川に行って、川の生き物や川のきれいさを調べたいと思いました。

5) テスト結果

理科単元のテストが平均92点で全国平均（約80点）を大きく上回った。

8 その他の小学校での実施結果

日 時	小学校名	人 数
平成18年11月10日	中間市立底井野小	55名（2クラス）
平成18年11月14日	飯塚市立庄内小	84名（3クラス）
平成18年11月28日	直方市立直方北小	46名（2クラス）
平成18年11月30日	北九州市立楠橋小	60名（2クラス）